

観察してみよう 震災の被害

この写真は、館山市内にあった川名写真館が大正 12 年（1923）に撮影したものです。
写っている内容を観察して、考えてみましょう。



写真をダウンロードして、タブレットなどで拡大してみよう！

- 問題 1 この写真は、大正 12 年（1923）9 月 1 日の災害後に撮影したものです。
どんな災害があったのか、調べてみましょう。

■ 問題 2 何が写っているか観察してみましょう。

■ 問題 3 この場所には館山小学校の校舎が建っていました。中央に座っている人びとは何をしているのでしょうか？

■ 問題 4 自分たちの町で大きな地震が起きたらどうなるのか考えてみましょう。

こたえと解説

大正 12 年（1923）9 月 1 日、相模湾西北部を震源とする関東大震災が起これ、安房地域も館山湾に近い町村を中心に大きな被害を受けました。現在の館山市域では、北条町・那古町・館野村で総戸数の 9 割以上が全壊、大規模な火災の起こった船形町は総戸数の 8 割以上が全壊または焼失しました。館山町も総戸数の 8 割以上が全壊という被害を受けています。写真の場所は奥に城山が見えることから、館山小学校の校舎とされます（当時は上真倉にありました）。被災後は、写真のように屋外や、「バラック教室」と呼ばれた仮設の建物を利用して授業が行われました。

（2022/2/18 作成）